

全脊椎正面 PA 撮影に関する研究

1. 研究の対象

2023 年 1 月～2023 年 8 月に当院でレントゲン検査(全脊椎正面撮影)を受けられた方

2. 研究目的・方法

特発性側弯症は脊柱側弯症の 80%を占め、進行すると内臓を圧迫し、健康に害を及ぼします。全脊椎撮影は側弯症に対する治療方針の決定や経過観察に有用です。側弯症は定期的な経過観察を必要とし、男子に比べて女子に多いことから乳腺への被ばくを考慮しなければなりません。当院では乳腺への被ばくを考慮して、2023 年 5 月から全脊椎撮影の撮影方向を AP（前後方向）から PA（後前方向）に変更しました。本研究では PA 撮影に変更したことによる診断への影響や乳腺の被ばくについて明らかにすることを目的としています。方法は AP 撮影と PA 撮影の乳腺表面線量の変化及び拡大率の変化を調べます。また当院で全脊椎撮影をした側弯症の患者様の臨床画像を用いて AP 撮影と PA 撮影の Cobb 角（側弯症の程度を評価する指標で、脊柱のカーブの上の端の椎体と下の端の椎体の傾きを直線的に延長して交わる角度のこと）計測における差の評価を行います。そして診断に必要な画質を維持しながら現在よりも被ばくを低減させることが可能であるかを調べるため、撮影条件の再検討を行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2024 年 12 月 31 日

利用を開始する予定日：2024 年 3 月 22 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：全脊椎正面単純 X 線画像等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：秋田大学医学部附属病院 中央放射線部 柏倉由羽

電話：018-834-1111(代表) 内線 2468(中央放射線部)

住所：〒010-0041 秋田県秋田市広面蓮沼 44-2